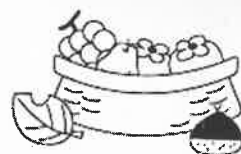


図書館だより

令和2年9月



まだまだ暑いですが、読書の秋です。

夏休みに借りた本は返しましたか？

新型コロナウイルスの影響で6月から始まった1学期、そして夏休みは17日間と、例年とは違う毎日をお過ごしている私たちですが、体調は大丈夫ですか。感染拡大の行方は予断を許さない状況が続いています。毎朝の検温、手洗い、うがい、マスクと気を緩めることなく十分な感染対策を引き続き行っていきましょう。

コロナウィルスはいろいろなことに影響を及ぼし困難な状況を招いていますが、読書をする人が増えたという事はあるそうです。サイトでも「KADOKAWA児童書ポータルサイト ヨメルバ」では無料で読むことができる本がありますし、「中学生 おすすめ本」で検索するとたくさん出てきます。覗いてみませんか？

文化委員会で学級文庫を配置しました。いつものように文化委員が選んだ本のほかに、法律は自分を守る武器になるので、「こども六法」という本も全クラスに配置してみました。ぜひ、手に取ってみてください。



「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」

フレイティみかこ

イギリスの元底辺中学校に通う息子。母は日本人で底辺保育園の保育士。父は元銀行員の大型ダンプ運転手の白人。

人種差別丸出しの美少年、ジェンダーに悩むサッカー小僧。時には貧富の差でギスギスしたり、アンデンティティに悩んだり。世界の縮図のような日常を、思春期真っただ中の息子は考え、悩み、乗り越えていく。

今こそ世界に目を向けよう！若い力で差別のない世界を切り開こう！



「天女銭湯」

ペク・ヒナ 作 長谷川義史 訳

韓国の銭湯のお話です。粘土細工のお人形のキャラクターのインパクトが強くとても楽しい絵本です。懐かしくてちょっと不思議な世界。ふるーい銭湯に通うドッチ。大好きな水風呂で出会ったのは……！？

「なんや、このばあちゃんどっから出てきたん！」

と羽衣をなくしたという天女があらわれた！

長谷川義史の軽快な関西弁の訳が心地よいですよ。韓国の銭湯の入浴後の定番は瓶に入った牛乳ではなく、ヤクルトって知ってました？